



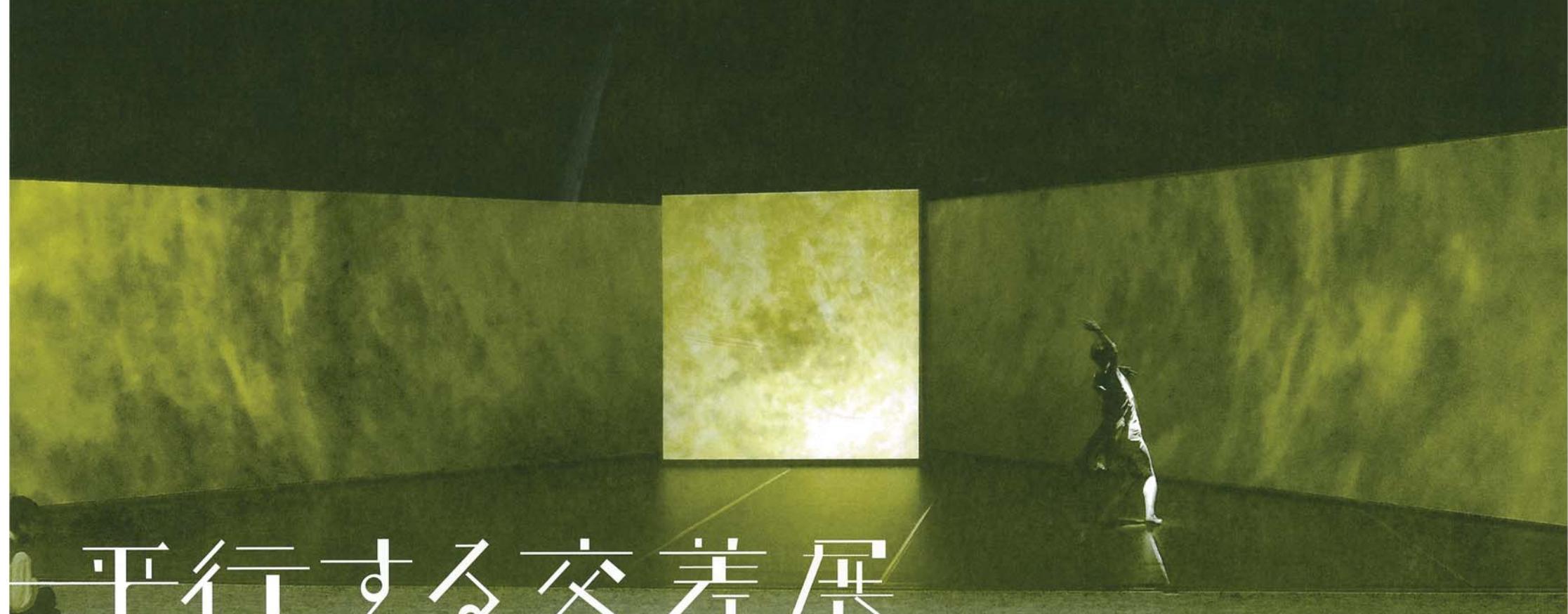
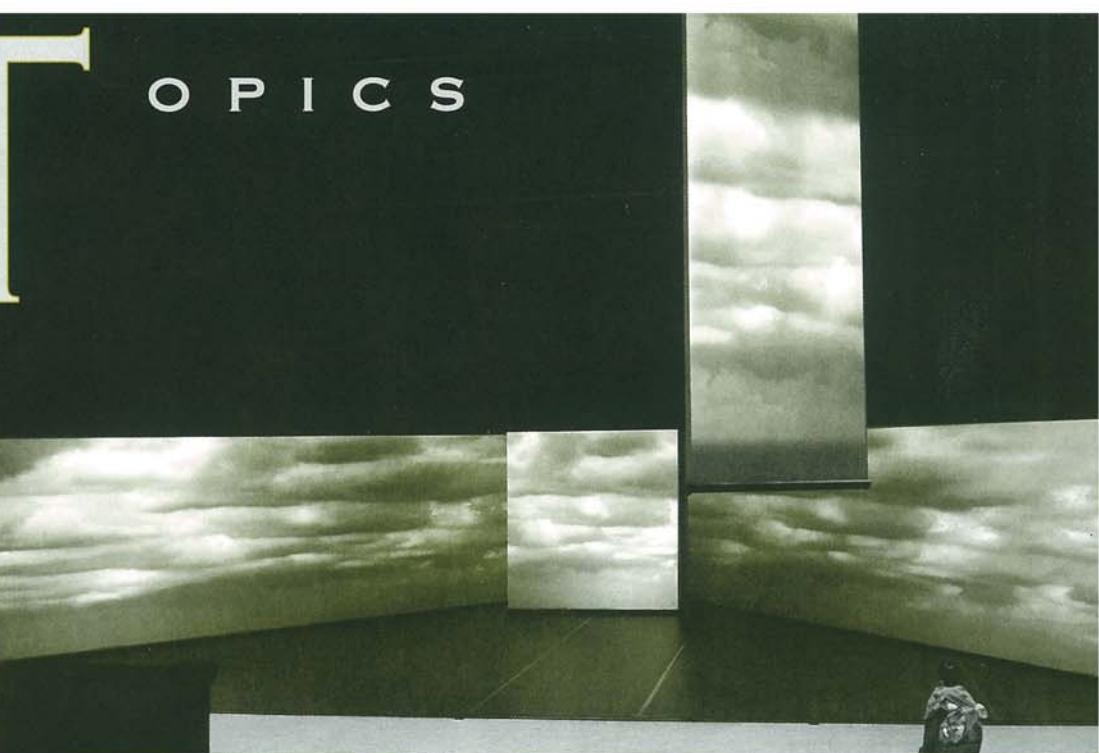
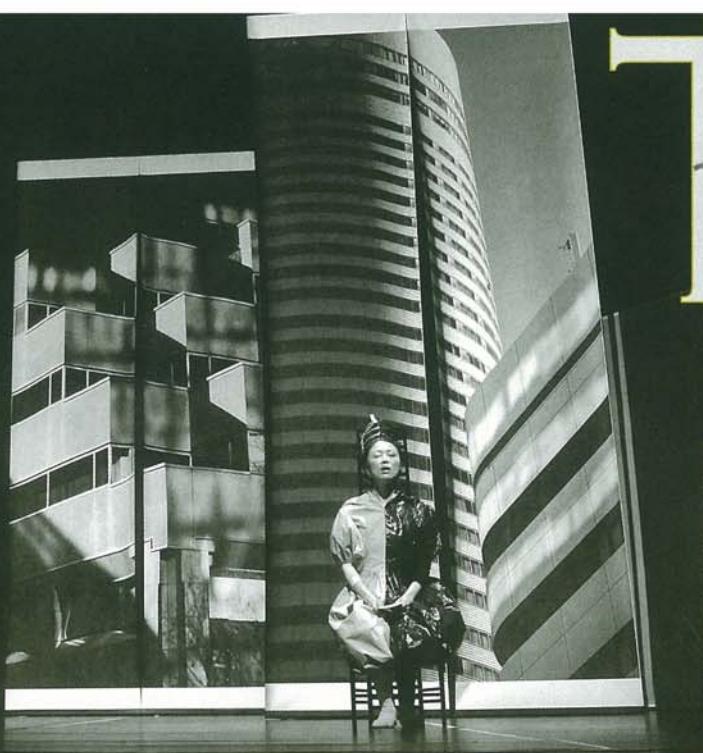
031

After Century

# Art Campus

Photography  
Cinema  
Fine Arts  
Music  
Literary Arts  
Theatre  
Broadcasting  
Design

# TOPICS



## 平行する交差展

Performativ e Architecture

大学から  
文化力



### 日本大学芸術学部インターフェクション・プロジェクト

於 芸術学部江古田校舎 中ホール

インターフェクション・プロジェクトは、日頃異なる領域において活動している本学芸術学部教員（デザイン、音楽、映画、写真、演劇、芸術教養課程）の教員が、学外の専門家と連携し、創作上の方法論を学びあいながら、密接なお互いの影響下に生まれる領域横断性とは何かを探るアート・プロジェクトです。その一環として、2014年2月22日・23日、「平行する交差展：Performative Architecture」が開催されました。本展覧会は学内の劇場で実施され、観客がホワイエからホールまで会場全体を散策できる回遊式インсталレーションが設置されました。ホール内には、舞台と客席に複数の巨大スクリーンが設置され、映像、写真、テクスト、音響、パフォーマーによる7つの作品が発表されました。また、ホワイエには、30台近いコンピュータからなる映像パーサージュが組まれ、多彩な1年間の活動が公開されました。会期中には2回の公開トーク「プロジェクトを解体する」が実施され、多角的な観点から、本プロジェクトについての活発な討議が展開されました。

### 平成25年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

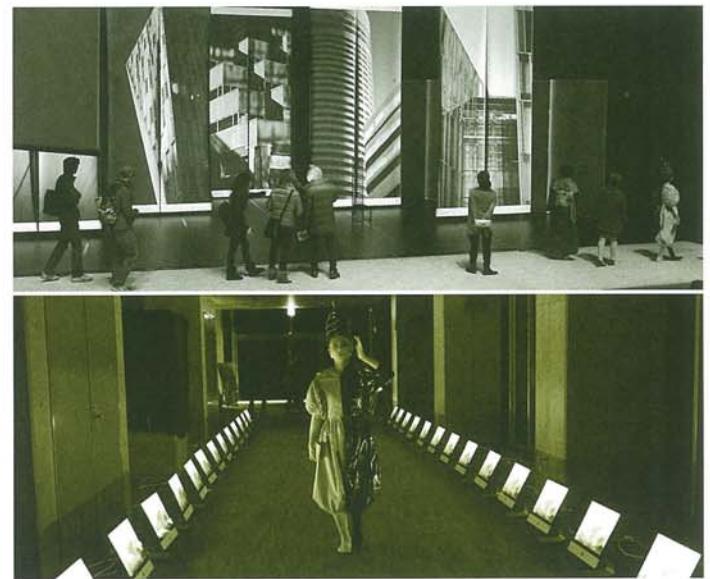
#### 『多領域横断型芸術の《総合的プロダクション・マネジメント》を担う人材育成のための実践的カリキュラムの開発』

本事業は、《総合的プロダクションマネジメント》に従事する人材教育を目的に、全国の大学から、27件の平成25年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」の一つとして採択されました。本学の《創作の現場》を実習の場とする実践的アートマネジメント・プログラムを実施し、《学び合いからくる実験的創作ワークショップ》《芸術論講座》《アートマネジメント講座》を提供しています。とくに、《アートマネジメント講座》では、外部のプロフェッショナルなアートマネジャー、キュレーター、ジャーナリスト、研究者などの協力を得ながら、プロダクションの記録、記述、配信、アーカイブに重点をおいた公開トーク3回を含む10回のアートマネジメント講座を提供してきました。

#### ○公開トーク「プロジェクトを解体する」



2月22日[土] 左より 向井知子 [芸術学部デザイン学科准教授] /  
保坂健二郎 [東京国立近代美術館主任研究員] / 斎谷保宏 [芸術学部演劇学科教授]



#### ○招聘パフォーマー

じゅんじゅん [振付家／ダンサー] | キムミヤ [振付家／ダンサー] | 寺内亜矢子 [俳優]

桂 英史 [東京藝術大学大学院映像研究科教授]

アートマネジメント講座①:『プロジェクトを構築する』[公開トーク] プロジェクト・ショーケース #0  
アートマネジメント講座②:『プロジェクトプロデュースとアーカイヴ』

平 昌子 [TAIRA MASAKO PRESS OFFICE 主宰]

アートマネジメント講座③:『プロジェクトの配信: 編集と広報』

米 原 晶子 [にしづがも創造舎チーフマネージャー]

アートマネジメント講座④:『クリエイティブプロセスの配信とアーカイビング』

保坂 健二朗 [東京国立近代美術館主任研究員]

アートマネジメント講座⑤:『クリエイティブプロセスとキュレーション』

アートマネジメント講座⑨:『プロジェクトを解体する』[公開トーク] 『平行する交差展』

ヲザキ 浩実 [あるすぱっと (豊島区立舞台芸術交流センター) 制作統括／チーフプロデューサー]

アートマネジメント講座⑥:『プロジェクトの記述: 編集とドキュメンテーション』

藤崎 圭一郎 [東京藝術大学美術学部デザイン科准教授]

アートマネジメント講座⑦:『プロダクションマネジメントの組み立て』

向井周太郎 [武蔵野美術大学名誉教授]

アートマネジメント講座⑧:『世界の生成 / 制作プロセスと「身振り」という概念について』

アートマネジメント講座⑩:『プロジェクトを解体する』[公開トーク] 『平行する交差展』





田中一郎氏に決定!

# 坂田一郎

Sakata Eiichiro

日本大学芸術学部 写真学科(昭和36年度入学)  
写真家

## 【略歴】

1941年、東京都に生まれる。日本大学芸術学部写真学科出身。広告制作会社ライトパブリシティに勤務の後、1966年に渡米。ニューヨークで写真家リチャード・アヴェドンに師事する。1970年に初個展「Just Wait」(銀座ニコンサロン)を開く。1993年には写真界の大型国際イベントとして知られる「アルル国際写真フェスティバル」(フランス)に招待され、写真展を開催、同時にワークショップを行う。またアルル名誉市民賞を受賞。週刊誌『AERA』(朝日新聞出版)の表紙を飾る人物写真を1988年の創刊号から現在まで撮り続ける。2004年、東京都写真美術館で個展「PIERCING THE SKY—天を射る」を開催。2005年に第24回土門拳賞ならびに日本写真協会作家賞を受賞。2013年に原美術館で個展「江ノ島」を開催。



著しく日藝の名声を高め、その業績が社会  
人に贈られます。

在校生、教職員、芸術学部校友会役員  
日藝賞選考委員会で業績などを検討の結果、  
と松崎しげる氏(昭和43年度文芸学科入学・

で行われ、2名の受賞者にはそれぞれ賞状  
アワードなどが授与されます。

## 【主な写真集】

- 『注文のおおい写真館』流行通信社 | 1985年  
『Talking Faces』六耀社 | 1990年  
『amaranth』朝日新聞社 | 1995年  
『PIERCING THE SKY—天を射る』求龍堂 | 2004年  
『JUST WAIT』求龍堂 | 2006年  
『LOVE CALL—時代の肖像—』朝日新聞出版 | 2008年

## 【主な個展】

- Just Wait 銀座ニコンサロン 東京 | 1970年  
Sakata '70 Just Wait2 TDSギャラリー 東京 | 1980年  
注文のおおい写真館 渋谷西武百貨店 東京 | 1985年  
東洋の顔 東高現代美術館 東京 | 1989年  
Memosyne TDSギャラリー 東京 | 1992年  
ポートレイト アルル国際写真フェスティバル フランス | 1993年  
amaranth 新宿パークタワー ギャラリー1 東京 | 1995年  
PIERCING THE SKY—天を射る 東京都写真美術館 | 2004年  
イサムノグチギャラリー／ガラスのピラミッド・モエレ沼公園 北海道 | 2005年  
第24回 土門拳賞受賞作品展 土門拳記念館 山形 | 2005年  
JUST WAIT P.G.I.ギャラリー 東京 | 2006年  
LOVE CALL—時代の肖像—  
丸ビル／新丸ビル／行幸地下ギャラリー／丸の内オアゾ 東京 | 2008年

## 【受賞歴】

- フランス アルル名誉市民賞受賞 | 1993年  
平成17年度 日本写真協会作家賞受賞 | 2005年  
第24回 土門拳賞受賞 | 2005年『PIERCING THE SKY—天を射る』 | 2005年

▲歴代受賞者▼

第4回	第3回	第2回	第1回
市川團十郎 (歌舞伎俳優)	宮嶋茂樹 (脚本家)	大石芳野 (ドキュメンタリー写真家)	三谷幸喜 (脚本家)
真田広之 (俳優)	宮藤官九郎 (脚本家)	佐藤隆太 (俳優)	佐藤隆太 (俳優)

